

ODA

発行 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会

編集 沖縄県障害者社会参加推進センター

〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1

TEL(098)851-3455 FAX(098)851-3855

ホームページアドレス <http://www.okisin.jp>Eメールアドレス okisinky@blue.ocn.ne.jp

頒価一部 100 円（会費に含まれています）

沖縄県障害者社会参加推進センターだより 第60号

第61回沖縄県身体障害者福祉展

令和3年9月8日（水）から沖縄県身体障害者福祉協会ホームページにて、第61回沖縄県身体障害者福祉展を公開しています。



新型コロナウイルスの影響で会場の使用が困難になり、初めての完全オンライン開催となりました。オンライン開催決定後、まず全作品の写真を集めることから始めました。福祉展担当者が、各団体に赴いて写真を撮ったり、離島や入所施設では、出展団体側に撮影をお願いするなどの方法で全33団体/244作品の写真を集めました。

作品の審査会も、各審査員にパソコン上で作品を観てもらうことで行ない、賞を決定しました。



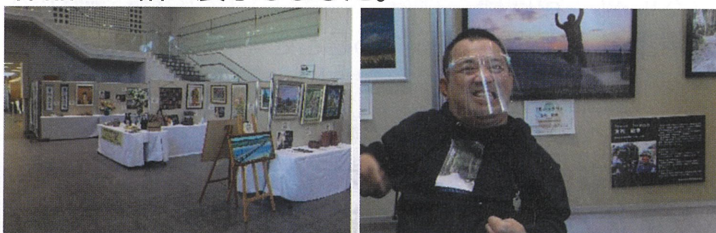
今回は、昨年のバーチャル福祉展からの進化を目標に、動画への手話通訳や原稿の音訳を取り入れました。また広報としてラジオ沖縄さまの『思いやり交差点』への出演や、日本身体障害者団体連合会さまなどの団体ホームページに福祉展の案内を掲載していただきました。その甲斐もあって昨年度を大きく上回る、1週間で1,078回のホームページ閲覧がありました。第61回沖縄県身体障害者福祉展は令和3年度内の公開を予定しています。当協会のホームページからぜひご覧ください。

沖縄県身体障害者福祉展
【レジェンド展】

令和3年12月14日（火）～16日（木）にかけて、沖縄県総合福祉センター1階ロビー及び、当協会ホームページを会場に沖縄県身体障害者福祉展の特別展である【レジェンド展】を開催しました。

この展示会は、これまでの沖縄県身体障害者福祉展において優秀な成績を収めた方を対象に、事務局が出展オファーを出し、承諾いただいた21名の方々の作品55作品を展示したものです。

今回特に力を入れたのは、出展者（＝レジェンド達）を紹介するという点です。展示会の趣旨を理解していただき、それぞれの障害名や経歴、作品作りに対するコメントなどを掲載したパネルを作成し、作品と一緒に展示しました。



作品数が少ない分、普段の沖縄県身体障害者福祉展よりも内容の濃い展示会に仕上がったと思います。来場者が1つ1つの作品を、そして作者の紹介パネルをじっくり観ていく様子に、この展示会を開催して良かったなと感じました。

また、【レジェンド展】は次年度沖縄県で開催される『美ら島おきなわ文化祭2022（第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭）』の連携事業にも位置付けられており、文化活動の機運向上にも貢献できたのではないかと思います。

当協会のホームページでは令和3年度内の公開を予定していますので、来場できなかった方は、ぜひご覧ください（左QRコードも対応可）。Youtubeで公開中の動画も好評です！



沖縄県手をつなぐ育成会

育成会文化祭り

令和4年2月9日(水)、10日(木)に育成会文化祭を開催します。

今年度は知的障がいのある方々が制作した作品を展示する美術展を行ないます!! つきましては、開催要綱をご確認の上、ご観覧申込書をご提出下さいますようお願いいたします。入場は無料です☆

【開催要綱】

1. 趣旨

公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会は、障がいのある人がスポーツや芸術・文化活動を通して、生活地域の中で生きがいのある快適な生活が送れる福祉社会の実現を目指し、積極的な社会参加推進運動を展開しています。

この「育成会文化祭り」は、様々な文化や芸術活動に取り組んでいる障がいのある人達に、日頃の活動の成果を発表する機会を設けると共に、同じ障がいのある仲間や地域の人達との交流を通じ、自立した社会生活の楽しさや喜びを提供する意義深い事業です。厳しい状況下にある福祉施策の中、当祭りを通じ、より多くの沖縄県民の皆様に知的障がいのある人に対する理解と親睦を深めていただき、温かいご声援とご支援が得られることを期待します。

2. スローガン

- ・手をつなぎ、この感動をわかちあおう
- ・支え支えられ共に暮らせる地域社会を!

3. 日時・場所

令和4年2月9日(水) 午前10時～午後5時

10日(木) 午前9時～12時

場所: 沖縄県立博物館美術館1階県民ギャラリー

※当日受付も可能ですが、混雑を避ける為、出来るだけ事前のご予約をお願い致します。

※申込書は沖縄県手をつなぐ育成会ホームページからもお取り寄せ可能です♪

※ご来場の際はマスク着用をお願いします。

体調不良の方はご来場をお控え下さい。

(主催: 沖縄県手をつなぐ育成会 098-882-5727)

沖縄県精神保健福祉会連合会

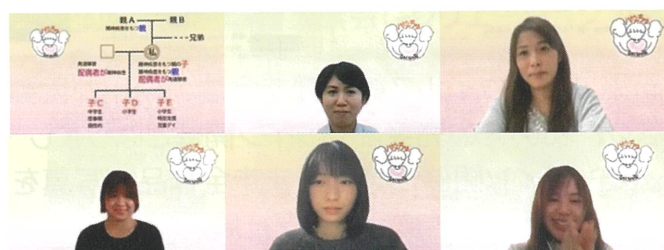
家族大会2021

『こどもぴあとヤングケアラー』

10月23日(土)、「こどもぴあとヤングケアラー」をテーマに、オンライン(Zoom ウェビナー)にて家族会研修会を実施しました。

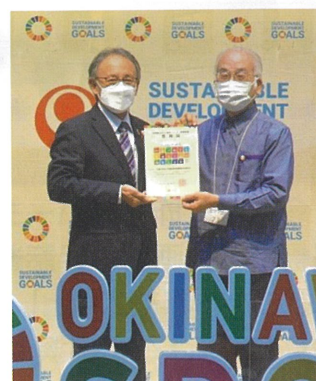
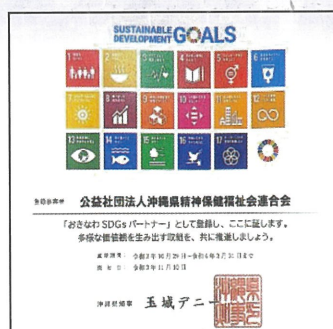
精神疾患のある親に育てられた子どもたちのつどい、『ハピんちゅOKINA輪(こどもぴあ沖縄)』のメンバーが、それぞれの体験やいま抱えている思いを語り、県内外から約130名の視聴参加がありました。

多くを背負わされ、ときにあるべき権利を奪われている子どもたちがいます。困難に置かれた子どもたちを見過ごすことなく、大人や社会がとるべきアクションについて、今回の研修会が継続的な議論の始まりとなることを期待しています。



『おきなわ SDGs パートナー』に登録しました

11月10日(水)には、沖縄県市町村自治会館にて『おきなわ SDGs パートナー』の登録式があり、新しい登録団体のひとつとして沖福連もこれに参加してきました。



SDGsは国連加盟国が掲げる「持続可能な開発目標」のことで、世界で広く共通している環境や貧困、人権問題といった課題に対し、長く続けられる方法で改善をはかっていく取り組みです。

沖福連でのSDGsを踏まえた活動については、ホームページでも発信しています。

沖縄県視覚障害者福祉協会

防災頭巾作り講習会

令和3年12月15日(水)沖縄視覚障害者福祉センターにて、読谷村視覚部の野波恵美子さんと比嘉直美さんを講師にお招きし、いざという時に頭部を守ってくれる防災頭巾を、防災への意識を高めるためにも自分たちで作成しました!



材料はタオル3枚とネクタイ1本です。タオル3枚を合わせて、ほどきやすいように大雑把な手縫い、顎下にくる位置にネクタイをくると巻き付け、首にあたる部分をざっくり縫い付けて完成です。ポイントはタオルを使用し手縫いするところで、避難後には糸をほどいてタオルとしても使用できます。一度作り方を覚えれば、簡単に自宅にあるものでできます。

被災した時には、まず我が身を自分で守らなければならない。防災頭巾を作っておけば、かさばらないのでいざという時に備えることができます。備えあれば患いなし!今回、ご参加くださいました皆様ありがとうございました。



第1回やえせのシーちゃん杯

ボッチャオープン大会

第1回やえせのシーちゃん杯ボッチャオープン大会が令和3年11月21日(日)に、八重瀬町東風平総合運動公園体育館で開催されました。

この大会はボッチャを八重瀬町内で普及させ、地域住民が交流を図る機会を作ることを目的に、有志で構成される八重瀬町ボッチャ大会実行委員会が開いたものです。町内の様々な団体等から全13チームが集まり、ボッチャをしたことある方もない方も楽しみながら試合を行いました。解説付きの決勝戦は全員で応援し、競技の魅力や理解がさらに深まったと思います。実行委員によると、今後も大会を計画しているとのこと。パラリンピックで注目をあびたボッチャが更に広まることを期待しています。



令和3年度沖縄県障害者スポーツサポーター等 ステップアップ研修会

令和3年12月11日(土)に、沖縄市コザ運動公園G駐車場にて、令和3年度沖縄県障害者スポーツサポーター等ステップアップ研修会を開催しました。今回行った競技は車椅子ソフトボール。

県内ではあまり聞き慣れませんが、全国では北海道から北九州まで全18チームがあり、全日本大会も行われているそうです。基本的なルールは野球やソフトボールと同じで、競技用車いすに乗った選手10人でプレーをします。バットにボールを当て1塁に向かって走る、ボールをキャッチして送球する経験に終始笑顔が絶えませんでした。今回、講師をいただきました一般社団法人日本車椅子ソフトボール協会の皆さま、本当にありがとうございました。



沖縄県聴覚障害者協会

会長就任のあいさつ

令和3年9月1日付けで沖縄県聴覚障害者協会会長に就任いたしました城間枝利子と申します。

新型コロナウイルス感染症による不安な日々は、皆様の活動に多岐に渡り制限を掛けていたことと存じます。



安定した社会情勢が戻りつつある中で発生した、オミクロン株にも不安がありますが、ここまで乗り越えてきたコロナ対策を心に留めながら皆様の底力を発揮し、障害に関係なくすべての方々で共生社会を目指し、日々の活動を再開していきますよう。

また、手話言語条例の制定により地域の状況が良い方向に変わり、聞こえない方々もより豊かな情報を得られることができるようになることが期待されます。沖縄県聴覚障害者協会も、より良い活動を目指し、希望をもって頑張っていきますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたしますして就任の挨拶といたします。

日本オストミー協会 沖縄県支部

オストメイト社会適応訓練

～ ひとりで悩まず仲間とともに ～

令和3年12月17日(金)から、県男女共同参画センター「ていえる」において、定例会を再開しました。オストメイトの方々だけではなく、ご家族、その他、誰でも自由に参加ができます。

開催地	開催場所	開催日時
北部地区	北部地区 医師会病院	毎月第4金曜日 13:30～
中部地区	敬愛会 中頭病院	毎月第1土曜日 10:30～
南部地区	県男女共同参画センター「ていえる」	毎月第3金曜日 14:00～
宮古・八重山地区	※調整中	※調整中

【問い合わせ先】日本オストミー協会 沖縄県支部

・北部：090-3790-7603(大城)

・中部：090-5290-3358(翁長)

・南部：090-2510-9695(福元)



沖縄県友声会

音声機能障害者発声訓練及び個人指導・発声相談について

喉頭がん、咽頭がん、舌がん、食道がん、甲状腺がん等による喉頭全摘者で音声機能障がいの方を対象に「発声訓練・個人指導等」を行っています。

くちびるにことばを、こころに愛を

発声教室



毎回、体温チェック、定期的な換気、開催時間の短縮を行い、最後は教室を消毒しています。

皆様のご協力のおかげで継続して開催することができています。

開催日時	開催場所
毎月第1～4土曜日 (14:00～16:00)	沖縄統合医療学院(2号館) (浦添市伊祖4-9-8)

【問い合わせ先】

・社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会

TEL：098-851-3455 FAX：098-851-3855

携帯：090-8917-0790

E-mail：jimukyok21@okisin.jp

・沖縄県友声会 会長：田名 勉

TEL：098-933-3088 FAX：098-933-3103

障がい者110番

障がい者の人権を守り、生活を支援します

◆ 相談日：月曜日～金曜日 9:00～17:00

【相談内容】人権問題・生活支援・医療福祉・その他障がい者自身または家族、友人や知人で悩んでいる方、困っている方などの相談。あなたの近所の方で悩んでいる、困っている方などの情報をお気軽にご相談ください。

※ 秘密は守ります。相談は無料です

【問い合わせ先・連絡先】

◆ 電話(FAX 兼用)：098-851-3910

◆ メールアドレス：jimukyok14@okisin.jp

〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1
(沖縄県障害者社会参加推進センター 相談室)



おきしんきょう通信

— 沖縄県身体障害者福祉協会 —

経営理念

一、利用者本位

一、社会貢献

一、責任と実行

第 54 回沖縄県身体障害者福祉大会

【大会スローガン】

「コロナ禍を乗り越え 共に思い 支えあい 明るい社会を築こう」

令和 3 年 1 2 月 1 4 日 (火)、県総合福祉センターにおいて、標記大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の観点から、規模を縮小して式典のみの開催となりましたが、大会宣言並びに決議が万雷の拍手のもと採択され大会は閉会しました。

【大会決議】

- 一、障害者差別解消法の広報啓発を図ろう
- 一、自治体と企業にはたらきかけ障がい者の働く場の拡大を実現させよう
- 一、ユニバーサル社会の実現と心のバリアフリーを広げよう

福祉事業功労者表彰… 1 2 名・2 団体

・谷中田洋樹・屋良陽子・久保志津子・山入端依子
・片倉政人・山入端清宗・神里和彦・仲宗根優
・上与那原寛和・荻堂盛助・富田順子・迎里崇雅
・手話サークルかけ橋・手話サークル若松

特別永年勤続功労者表彰… 1 名

・我如古亜希子

永年勤続功労者表彰… 1 6 名

・照喜名朝哉・仲宗根薫・山内さつき・大城まゆみ
・志田優子・平安山英盛・仲間義弘・謝名美香
・水戸周太・渡久地律子・花城裕康・神里義嗣
・白保郁子・大城美智代・柳田優枝・石原清

自立更生表彰… 2 名

・高良格・山城孝乃

本大会は沖縄県共同募金配分金を受けて開催しています



第 51 回九州身体障害者福祉大会 第 28 回九州ブロック身体障害者相談員研修会 (熊本開催)

【大会スローガン】

○“コロナに負けない”真の共生社会を目指し、心のバリアフリーを推進しよう

○障がい当事者として地域防災計画づくりに参画しよう

令和 3 年 1 2 月 2 日 (木)・3 日 (金)、熊本市市民会館シアーズホーム夢ホールで標記大会が開催され沖縄県から 3 名が参加しました。

初日は「障害者差別解消法および心のバリアフリーの理解と地域社会への啓発について」と「地域障がい者団体と相談員の活動活性化について」をテーマに研究討議がされました。

二日目の第一部式典では、金武町身体障害者福祉協会 新里広明会長が組織活動功労表彰、沖縄県身体障害者福祉協会 宮城愛子評議員が特別表彰を受賞しました。また、第二部では、「ユニバーサルデザインのまちづくりと心のバリアフリー ~東京 2020 大会がもたらしたもの、そして強く前へ~」と題して講演があり、第三部において、研究部会報告、大会宣言、決議が採択されました。

【大会決議】

- 一、障害者差別解消法の理解 啓発を図り、障がい者理解を進め、合理的配慮の考え方を浸透させよう
- 一、まちの隅々までバリアフリーを行き届かせるために、障がい当事者の視点で要望を続けよう
- 一、障がい者相談員を地域の相談支援体制に活用することを求めよう
- 一、地域防災計画への障がい当事者による参画と災害時の障がい者支援への充実を図ろう
- 一、コロナに屈せず、地域における障がい当事者団体の組織体制の強化を図ろう

沖縄県身体障害者スポーツ大会

(代替大会: サウンドテーブルテニス)

令和3年11月13日(土)に豊見城市民体育館多目的室において、県身体障害者スポーツ大会の代替大会として卓球競技のサウンドテーブルテニス競技会が開催されました。昨年は、コロナウィルスの影響で中止となっていたため2年ぶりの開催となりました。

5団体10名の選手の参加を頂き、交流試合のように対戦を組み普段大会では当たらない選手とも試合をしてもらいましたが、想像以上の熱戦が多く見られました。また、感染対策を講じながらの競技会でしたが、久しぶりに試合が出来たということで、練習不足だった等の声もありましたが、みなさんに楽しんでいただけたと思います。延期等もありましたが、ご参加頂いた皆さま、ありがとうございました。



令和3年度

沖縄県身体障害者ボッチャ教室

令和3年11月6日(土)に北部地区を宜野座村総合体育館、南部地区を11月18日(木)に那覇市民体育館、12月4日(土)に中部地区を中城村民体育館と今年も3会場に分け、ボッチャ教室を行いました。昨年は、コロナウィルスの影響で開催中止を余儀なくされた会場もありましたが、今年は無事に3会場開催できました。ご協力ありがとうございました。

各会場とも、簡単なルール説明後にリーグ戦を行いました。夏の東京パラリンピックでも金メダルを獲得し、ボッチャへの注目度が増している中での開催であり、どの会場でも白熱した勝負が見られました。そして何より、皆さんボッチャを楽しんで頂けたようです。ご参加およびご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。



わったーしんかぬちゃー

★地域身障協や関係団体のご紹介★

今回は、明るくパワフルな仲間会長が率いる宜野座村の紹介です！

【宜野座村障がい者家族会 ひるぎの会】

(仲間隆子 会長)

【会員数】38名

【活動紹介】

- ・観月会
- ・クリスマス会
- ・新年会
- ・ピクニック



- ・北部地区障がい者家族会レクリエーション大会
- ・県身体障害者スポーツ大会・ボッチャ教室参加



仲間隆子会長です！



【一言コメント】

ひるぎの会は、村内に在住する障がいのある方が、お互いに悩みを分かち合い、家族や賛同者の皆さんと協力し支え合う会です。

健康増進と社会参加を目的に、スポーツ大会参加やレクリエーション等、様々なイベントを開催、支援しています。今後も皆さんが、心身共に健康で楽しく過ごせるよう活動していきます。

【問合せ】

住所：宜野座村字惣慶 1898 番地

(宜野座村社会福祉協議会内)

TEL：098-968-8979 FAX：098-968-5884

MAIL：jimkyoku@ginoza-shakyo.or.jp

※その他の市町村身体障害者協会へ連絡を取りたい！
と思う方は、沖縄県身体障害者福祉協会へお気軽に
お問い合わせください！お待ちしております！

TEL：098-851-3455 FAX：098-851-3855

MAIL：okisinky@blue.ocn.ne.jp

